

OCZ Vertex シリーズ ファームウェアアップデート

警告：

本アップデートは OCZ Vertex シリーズ SSD のみに適用可能です。
アップデートによりデータは完全に消失します。
アップデートの前に必ずドライブのバックアップを行ってください。

参考：

現状の Windows OS の元での SSD のテストにおいては、利用されなくなったデータブロックはそのまま残され再使用の時点で消去動作を行います。MAX 性能を回復するには SSD のテストを OS インストールの前に行い、テスト後 Flash Utility で不要なデータを消去することを推奨します。

Updating Your Firmware OCZ Engineering Q2, 2009

ファームウェアのアップデートは性能向上のためにデザインされており、最新の Ver にアップデートしようとする場合は、本ガイドを参照ください。ファームウェア Ver はデバイスマネージャあるいは BIOS で確認できます。

開始の前に：

ジャンパーピンを準備ください

ドライブ上のデータは消去されるため事前にバックアップください。

アップデートしようとする SSD はスペアドライブとして PC に接続ください。

ドライブの容量タイプを確認しておいてください。

PC が安定して動作していることを確認ください。BIOS のアップデートと同様に、オーバクロックしない CPU/RAM/GPU 速度で実行することがベストです。

準備ができれば以下の手順でスタート：

1. アップデート前のドライブで PC を起動します。
2. 最新ファームウェアを OCZ の Web サイトよりダウンロードします。
3. ZIP ファイルを解凍し、保存先を確認ください。
4. PC の電源を OFF にします。
5. ジャンパーでドライブを factory Mode にします。
6. ドライブは SATA ポート 0-3 に接続する必要があります。
7. PC を起動して CMOS setup で SATA Controller を IDE Mode にします。
8. CMOS setup を閉じて PC を再起動します。

ファームウェアのアップデート：

(以下は容量 120GB の例です)

1. PC を起動し以下の手順を実行します。Windows Vista の場合は UAC(User Account Control)を off にしてください。
2. 解凍したフォルダーの該当する容量のフォルダを開きます。



- 3.start.exe 実行で firmware update プログラムが起動し Start 画面が表示されます。
[OK]クリックでアップデートを開始します。
- 4.アップデート中にフリーズしたらアップデートを再度実行ください。
- 6.Firmware installation complete が表示されたらジャンパーをはずして、install 画面で[OK]で通常モードに戻ります。
- 5.start 画面にもどるので[OK]でアップデートの完了です。
- 6.start 画面で[cancel]クリックの後、PC をシャットダウンします。

アップデートの確認：

1. 電源断します。
2. ジャンパーピンがないのを確認します。
3. PC を再起動し CMOS setup で元の SATA mode に戻します。

電源 on のままでのアップデートの確認：

1. 更新終了後、ジャンパーピンをはずし[OK]クリックします。
2. [デバイスマネージャ]を開きます。
3. Disk Drive を選択して右クリックで[ハードウェア変更のスキャン]を 2 回実行します。
Firmware バージョンが表示されるので V1.10 であるのを確認してください。

以上で OS のインストールの準備が整いました。

Hot-Plug による方法：

上記方法でうまく行かない場合有効です。

また、PC が SSD を認識できない場合やブートに失敗するときにも有効です。

1. SSD 接続なしで start.exe を実行します。
2. ジャンパーをセットした SSD を接続します。
3. [OK]をクリックします。
4. アップデートが自動的に開始されます。
5. [Change the jumper setting]画面でジャンパーをはずします。
6. 後は最初と同じ手順でアップデートを完了/確認します。

付録 1:ジャンパー取付け



付録 2: ケーブル接続



ファームウェアバージョンの履歴

Version 0112 (Feb. 2009) (Description: Basic I/O optimized drive with SMART error logging)

Version 1199 (Feb. 2009) (Description: Enhanced performance I/O optimized drive)

- Internal "write join" was implemented for better performance
- SMART basic features can be performed without error log monitoring (to reduce overhead of log data collection)
- ATA power management commands (IDLE, STANDBY, SLEEP) are enabled for compatibility (Actually these are dummy, while SATA based Power Management is fully supported)
- Supports runtime bad block handling
- Improved power management
- Improved NAND handling
- Enabled PIO mode data transfer

Version 1275 (March, 2009) (Description: Improved raid 0 mode performance)

- Performance is improved when drive is installed on RAID0 mode host
- Maximum LBA number is modified according to the JEDEC standard
- Modifications of internal data structure used by FW (stamp)
- Improved write joining
- Improved FPDMA transfer mode

Version 1.10 (April 7, 2009)

- Feature Add : TRIM support is added
- Apple Mac Pro sleep/wake up support added
- Updater improved
- Bad block management function improved